

## 芸予地震の強震度記録に見られるフィリピン海プレートの減衰

Estimates of the attenuation in the Philippine Sea Plate slab using Strong Motion data from the 2001 Geiyo Earthquake

# James Mori[1]

# James Mori[1]

[1] 京大・防災研・地震予知

[1] RCEP, DPRI, Kyoto Univ.

2001年芸予地震の震度分布には、東へ延びた非対称のパターンが見られる。これはフィリピン海プレートを通る波の減衰が原因かもしれない。この研究では本震の強震記録のプロファイルを調べて、スラブを通る道 (path) と通らない道の  $Q$  を計算した。KiKNet の

ボアホール data を使った。強震データによると、プレートを通るプロファイルの振幅の距離による減衰は他のものよりずっと遅く、 $Q$  の値が高いことを示している。0.2 から 10Hz のスペクトル振幅を使って  $Q$  の平均値を出すと、スラブの中を通過している波の平均  $Q$  は、まわりのものより3倍も高くなっている。